

杉山毅先生の略歴と主要著作目録

略 歴

- 昭和 6(1931)年 9月 大阪に生まれる
- 昭和17(1942)年 9月 中華民国青島市に移住
- 昭和19(1944)年 3月 青島第一国民学校卒業
- 昭和19(1944)年 4月 青島中学校入学
- 昭和21(1946)年 1月 引き揚げ後、京都府立第三中学校転入学
- 昭和23(1948)年 4月 大阪府立北野高等学校(新制)転入学
- 昭和25(1950)年 3月 同 上 卒業
- 昭和25(1950)年 4月 大阪外国語大学フランス語科入学
- 昭和29(1954)年 3月 同 上 卒業
- 昭和29(1954)年 4月 大阪市立文の里中学校教諭
- 昭和30(1955)年 4月 京都大学大学院文学研究科修士課程(フランス文学専攻)入学
- 昭和32(1957)年 3月 同 上 修了
- 昭和32(1957)年10月 大阪府立大手前高等学校定時制課程教諭
- 昭和34(1959)年 1月 コロンボ・プランによる日本政府派遣専門家として、南ヴェトナム共和国サイゴン大学付設現代語学校にて日本語教授のため出張、昭和35(1960)年 3月帰国
- 昭和36(1961)年 4月 大阪外国語大学助手
- 昭和36(1961)年 6月 同 上 専任講師
- 昭和40(1965)年 7月 フランス派遣教授団の一員としてフランスへ出張
C R E D I F 教授資格を取得(ブザンソン大学)
- 昭和40(1965)年11月帰国
- 昭和41(1966)年 2月 大阪外国語大学助教授
- 昭和42(1967)年11月 広島大学助教授(文学部)
- 昭和45(1970)年10月 フランス政府招聘研修員としてポアティエ大学へ出張
- 昭和46(1971)年12月帰国
- 昭和50(1975)年 4月 広島大学教授(文学部)
- 昭和55(1980)年 2月 フランス共和国政府より教育功労勲章(L'Ordre des Palmes Académiques)シュヴァリエ級を授与される
- 昭和63(1988)年 3月 広島大学を退職(勲奨制度による停年扱い)
- 昭和63(1988)年 4月 大阪学院大学外国語学部教授
- 昭和63(1988)年 4月 広島大学名誉教授

I 著 訳 書

1. シモーヌ・ヴェイユ「神を待ちのぞむ」(勁草書房, 田辺保氏と共訳) 1967年
2. 「旅行者のためのフランス語会話」(創元社, 黒木義典氏と共著) 1968年
3. シモーヌ・ヴェイユ「ロンドン論集とさいごの手紙」
(勁草書房, 田辺保氏と共訳) 1969年
4. ガブリエル・リュシエ「愛と死の手紙」(二見書房) 1971年
5. アンリ・ルフェーブル「現代への序説」
(法政大学出版局, 宗左近他三氏と共訳) 1972-73年
6. シモーヌ・ベトルマン「詳伝シモーヌ・ヴェイユ I」(勁草書房) 1978年
7. サン・テグジュペリ著作集5「手帖」(みすず書房) 1983年
8. 「緑の中の廃墟」(深水社) 1987年

II 論 文

1. 「ブリタニキユス」小論 「フランシア」2号(京都大学仏文教室) 1958年
2. フランス人の日本観 Etudes françaises 1 (大阪外国語大学) 1961年
3. 戦争の教訓—Saint-Exupéryの Pilote de guerre を中心に —
Etudes françaises 2 1962年
4. フェリシヤン・シャレエ賞え書 Etudes françaises 3 1963年
5. マルセル・エイメの初期作品の若干の主題について
Etudes françaises 5 1965年
6. マルセル・エイメの小説の構造とその方法
「学報」(大阪外国語大学) 17 1966年
7. マルセル・エイメと子供の世界 Etudes françaises 6 1966年
8. Marcel Aymé の戯曲について 「広島大学文学部紀要」28巻 2号 1968年
9. シモーヌ・ヴェイユ小論 「広島大学文学部紀要」29巻 2号 1970年
10. 「城砦」の成立過程をめぐって 「広島大学文学部紀要」32巻 2号 1973年
11. 「城砦」における上昇のイメージ 「広島大学文学部紀要」33巻 1974年
12. 「城砦」における<言語>をめぐって 「広島大学文学部紀要」35巻 1975年
13. 「手帖」の二つの版 「広島大学文学部紀要」37巻 1977年
14. サン・テグジュペリと<海>のヴィジョン 「広島大学文学部紀要」38巻 1978年
15. サン・テグジュペリにおける所属の観念 「広島大学文学部紀要」39巻 1979年
16. レーモン・ジャン試論 1,2,3 「歯車」32,33,34号 1981-82年
17. Charles-Ferdinand Ramuz vu par un médiéviste d'origine genevoise
「広島大学文学部紀要」42巻 1982年

18. 現代フランス小説における冒頭の文章
古田敬一編「レトリックと文体」(丸善) 1983年
19. 「手帖」再考
「広島大学文学部紀要」43巻 1983年
20. 文学の表現
田辺保編「フランス語で言えば」(有斐閣) 1985年
21. 「アルテンブルクのくるみの木」—ある決算と予見の書—
「広島大学文学部紀要」46巻 1987年

III 教科書

1. 「実践フランス語文法」(文林書院のち行人社, 小泉隆雄他二氏と共著) 1966年
2. 「入門フランス語読本」
(文林書院のち「フランス語の手引き」行人社, 小泉隆雄他二氏と共著) 1966年
3. アルベール・カミュ「異邦人」(第三書房, 古賀照一氏と共編) 1973年
4. レーモン・ジャン「エレースと小鳥たち」(行人社) 1984年
5. レーモン・ジャン「ベラBの幻覚」(行人社) 1985年
6. 「フランス語の小窓」(芸林書房, 横山昭正氏と共著) 1986年

IV その他(書評, 報告, エッセー, 他)

1. 「コンサイス仏和辞典(改訂版)」(三省堂, 執筆協力) 1958年
2. ラヴァイヤックの短刀 「りてら」14号(大阪外国語大学) 1968年
3. 「新・仏英戦争」と日本語教育
「日本語・日本文化」(大阪外国語大学) 1971年
4. 思い出の記 Albatros 創刊号(大阪外国語大学) 1971年
5. ポワティエの12月 「ふらんす」(白水社) 1973年
6. モローと弟子たち賛 「中国新聞」 1974年
7. フランス人教師さまざま 「中国新聞」 1974年
8. 緑の中の廃墟—オラドゥールとヒロシマー(創作) 「歯車」26号 1974年
9. 二つの廃墟の間で 「中国新聞」 1974年
10. ヒロシマ偶感 「広島ジャーナリスト」 1975年
11. 復活祭の椿事(創作) 「歯車」28号 1976年
12. ミステイクなものへの讃歌〔ティボン著, 山崎庸一郎訳「星の輝きを宿した無知」書評〕 「日本読書新聞」 1976年
13. 回想のベトナム 「中国新聞」 1976年
14. 千里江山三色章(創作) 「歯車」29号 1976年
15. ロジェ・カイヨワ「サン・テグジュペリ序説」(翻訳) 「歯車」30号 1977年

16. 私の訳した本「詳伝シモーヌ・ヴェイユ」 『翻訳の世界』 1978年
17. 一冊の本：渡辺一民「ドレフュス事件」 『広島大学新聞』 1979年
18. ラミュとヅムートル教授 ROMANDIE 2号 1979年
19. 波立つ海—ノブレス・オブリージュ（創作） 『歯車』 31号 1979年
20. 行き届いた選択眼（関本至編「現代ギリシア短編小説選集」書評）
『中国新聞』 1980年
21. 地方大学と外人教師 『流域』（青山社）3, 4号 1980-81年
22. 人間五十年 『広島日仏協会報』 80号 1981年
23. アルベール・ベガン「ラミュの忍耐」（翻訳，一部） ROMANDIE 4号 1981年
24. 「独仏文学研究」「村上菊一郎」（項目執筆）
『広島県大百科事典』（中国新聞社） 1982年
25. 藤本仁「長閑なバスの中」（書評） 『中国新聞』 1983年
26. バリ再々訪記 『歯車』 36号 1985年
27. 「仏・オラドゥール裁判」の意味 『中国新聞』 1985年
28. 丘の上の鳩舎—レーモン・ジャンとの一—
『広島大学フランス文学研究』 4号 1985年
29. レーモン・ジャン「黄金と絹」（翻訳，一部） 『歯車』 37号 1986年
30. 「壁かけ」のある町—その今昔— 『学内通信』（広島大学） 251号 1986年